

科目名 (Subject)	外国語演習a (ドイツ語) (Foreign Language Seminar a)		
単位数 (Credits)	2 単位	開講時期	前期
担当教員名 (Name)	副島 美由紀 <Miyuki Soejima>	研究室番号 (Office)	420
Office Hours	在室時		
<p>1. 授業目的・方法 (Course objective and method)</p> <p>〔目的〕 外国語学習の本来の目的は、異なる言語とその背景をなす文化を学ぶことによって世界に関する認識の地平を広げ、自らの価値観を相対化してより公正な判断能力を養うことにあります。この目的を念頭に置き、映像教材を使ってドイツ事情を学びながら、ドイツ語を聞く、読む、また話す能力を養っていきます。この授業によってドイツ語の能力が増すばかりでなく、新しい世界と対峙する勇気が湧いてくることでしょう。</p> <p>〔方法〕 ドイツという国とドイツの人々を紹介するために作られたドイツ製の教材の中からビデオ教材のあるものを選び、使用します。それぞれのテーマについてまず動画の教材を鑑賞し、その内容をテキストで読み、理解します。練習プリントによって文法の復習や語彙の収集と練習を行います。その後、そのテーマについてドイツ語で自分の考えを述べる練習をします。その考えをドイツ語の文章で書く作業も行い、総合的なコミュニケーション能力の涵養を目指します。</p> <p>2. 授業内容 (Course contents)</p> <p>授業で扱う予定のテーマは以下の通りですが、これらの中から参加者の興味を引くものを選択して取り上げます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ドイツの学校制度 ● ドイツの学生 ● 自分の町・自分の大学を説明する。 ● ドイツ人のとっての休暇 ● 現代ドイツの若者 ● 職業訓練 等々 <p>2, 3回の授業で一つのテーマを扱う予定です。動画は Moodle を通して配布されます。よって「予習課題」は、自宅でこの動画を見て内容を理解し、使用されている語彙等を把握することです。授業ではこのトランスクリプトを配布し、解読していきます。また、文法や語彙の練習を行います。「復習課題」は、動画のテーマについて自分の意見をまとめ、それを表明する作文を書くといった作業が中心になります。次の授業で、意見表明等の自己表現を会話のかたちで訓練します。「予習課題」「復習課題」共に1時間ほどを必要とするでしょう。スムーズな授業展開のためにはきちんとした予習・復習が必要条件となります。日本語であれ、ドイツ語であれ、活発で率直な発言を期待します。</p> <p>3. 使用教材 (Teaching materials)</p> <p>『Einblicke』 (Goethe-Institut + Internationes), 『Studio d』 (Colnelsen), 『Priam Plus 2』等を使用しますが、動画は Moodle を通して配信し、それ以外はプリントを配布します。</p> <p>4. 成績評価の方法 (Grading) 出席・提出物・プレゼン・発言等を含む平常点(50%)・試験の成績(50%)の総合評価とします。</p> <p>5. 成績評価の基準 (Grading Criteria)</p> <p>秀：ドイツ語文法をよく理解し、読解と発話において優れた語学運用能力を持っている。</p> <p>優：ドイツ語文法を理解し、読解にも発話にも十分な能力を持っている。</p> <p>良：ドイツ語文法を理解し、読解や発話に不安のない能力を見せる。</p> <p>可：ドイツ語文法を最低限度理解し、若干の運用能力と最低限の語彙力を持っている。</p> <p>不可：上記以外の者。</p> <p>6. 履修上の注意事項 (Remarks) 欠席回数が増え5回以上になると単位取得資格を失います。 また、授業は教師と学生の共同作業で成り立っていますから、質問・要望などは大いに歓迎します。</p>			